

アフリカとのコンパクト—IMF の貢献

[クリスティーヌ・ラガルド](#)

2017年6月12日



世界の最高政策責任者と投資家の一部がベルリンに集まり、アフリカ経済の将来の姿を作り変えることに貢献し得る新たなイニシアティブを話し合いました。

主要 20 カ国・地域 (G20) が先ごろ始動させたイニシアティブの「アフリカとのコンパクト」から目に見える経済的な恩恵があることは数百万の人々がお分かりかと思えます。その目標は、各国政府や投資家、国際機関の専門的知見を持ち寄り、民間投資を増やすことです。

このコンパクトは生産性と生活水準を向上させるプロジェクトを実現させることを目的としています。人口の 70% が 35 歳未満のこの大陸で新たなチャンスを作り出すためのものです。

若い国々の経済成長の潜在力はより高いものがありますが、それを実現するのはたやすい仕事ではありません。我々はアフリカで新たに労働力として参入する人々を

吸収するには 2035 年まで毎年 2000 万もの新規雇用を作り出す必要があると考えています¹。

このコンパクトを始動させたことにより、G20 議長国のドイツは雇用創出と貧困削減のエンジンを点火しました。しかしこれを全速力で走らせるには、すべての人々が何らかの貢献をする必要があります。

アフリカ各国の政府にとっては、それは経済、ビジネス、金融の各環境とガバナンスを向上させるために改革を加速させることを意味します。G20 各国と国際機関などアフリカ諸国のパートナーにとっては、それはアフリカ各国の独自の特性を考慮した成功する投資プロジェクトを設計、実行する努力を支援することを意味します。

我々 IMF もその使命に沿って、強靱なマクロ経済環境と持続可能な債務負担の形成に向け果たすべき役割を担う準備があります。これは決定的に重要なことです。なぜなら経済が全体として健全な時のみ、投資が増え、より賃金の高い雇用が増えるからです。

われわれは、このコンパクトに参加する国々と、これまでの長い関係の礎の上にさらに関係を深めていくことにコミットしています。3つのその例を挙げたく思います。

その 1—より強力で信頼のおける政府歳入の源泉を作ります。 それは税制政策の改革を支援し、税務執行能力を強化することを通じて行います。このコンパクトにおいては制度強化と成長結果が重視されていることを踏まえ、各国が毎年 GDP の 0.5% ずつ歳入の増加を目指すことは当然です。

これは成長をより持続的、かつ包括的にすることを助けます。過剰な債務の累積を防ぎ、健康、教育、社会資本への新たな投資に使える余剰資金を生み出すからです。

その 2—社会資本への公共支出の効率性の向上。 アフリカではその社会資本ギャップを解消するには毎年約 1000 億ドルの投資が必要と試算されていますが、実際の投資はその半分にも満たないのが現状です²。最近の分析では同地域の社会資本の投資

¹ IMF 試算に基づく：サハラ以南アフリカの地域経済見通し（2015 年 4 月）と北アフリカに関するスタッフ計算

² 世界銀行グループ IDA18（2016 年）における IFC-MIGA の民間部門枠への提言

不足が毎年2%ポイント分成長を低下させているとの結果で、所得、雇用創出、将来の繁栄への非常に大きな重しとなっています³。

ガーナやコートジボワール、トーゴなどの国が最近、社会資本投資の鍵となる公共支出の効率性向上のために IMF の専門的知見と制度を活用しました。そして今年 IMF は、モロッコ、セネガル、チュニジアとこれに取り組みます。

その3—金融部門開発の支援。 その対象は健全で監督の行き届いた銀行システムの構築からマクロプルーデンシャル政策、金融不安時の資金フロー変動の管理までにわたります。金融が安定すればするほど民間投資が増え成長の包括性が増すことを我々は知っています。

また、投資は適切な環境でのみ生きてきます。適切な環境とは法律が機能することが尊重され、堅固な制度で保障されていることを意味します。IMF はこれに向けた努力を加盟国と深く関与しながら行っています。その中には資金洗浄やテロ資金調達に対する防御の構築があり、直近ではガーナやモロッコ、そしてチュニジアで行っています。

これらのコミットメントはすべて、IMF が直接関与する技術支援と研修能力開発に焦点を当てていることを強調するもので、IMF 活動の約4分の1に達しています⁴。例えばネット上で提供されるコースには2013年以來ほぼ3万人が参加しています。そしてそのうちの政府関係者参加分の最大の割合を占めるのがサハラ以南のアフリカ諸国からの参加者です。

もちろん、我々は各国経済の年次診断と必要に応じて金融支援も提供しています。実際、現在次のコンパクト参加5カ国で IMF 支援プログラムを実施しています。それらはコートジボワール、モロッコ、ルワンダ、セネガル、そしてチュニジアです。

これらのプログラムは、当該国のマクロ経済の強靱性と公的債務の持続性を保ちながら、コンパクトのイニシアティブに合わせて微調整が可能と思っています。我々の目標は、コンパクトがより大きな投資と雇用創出に結びつくことが確実となるよう支援することです。

これらすべての分野で、「アフリカとのコンパクト」とそれを超えてのより強い国際協力が必要です。ネルソン・マンデラ氏がかつてこう発言されました。

³ アフリカ開発銀行「アフリカ統合—次世代の世界市場の創造」(2016年)。

⁴ IMF の年間運営支出は2016年度で3億3200万ドル

「我々の世界で貧困、不正義、そしてひどい不平等が続く限り、誰も本当に休むことはできない」

一緒に働くことにより、我々は「アフリカとのコンパクト」の公約と他の鍵となる開発イニシアティブを実現し届ける機会を見出せます。それまで誰もが本当に休むことができないのです。